

凡例

- 一 本稿は、京都大学付属図書館が所蔵する菊池三溪自筆稿本の目録である。
- 二 配列は、京都大学付属図書館が付した請求記号の順とした。
- 三 各稿本には通し番号を付した。
- 四 各稿本ごとに、まず書名を記し、次いで請求記号を示した。
- 五 次に、①分量、②書型、③丁数、④外題、⑤内題等、⑥序跋、⑦備考、⑧目次の八項目について記述した。
- 六 いったん薄紙表紙を付けてまとめられた詩文稿を、改装または合綴した稿本の場合、③丁数には薄紙表紙も算入した。
- 七 ⑧目次の記述は、以下の方針による。
 - 1 複数冊から成る稿本の場合、各冊の冒頭を**第一冊**のように示した。また、各冊の外題が異なる場合は、() に括弧で外題を示した。
 - 2 一冊の稿本が、複数の巻から成る場合、各巻の内題を、それらが記されている位置に、●印を付して挿入した。
 - 3 一冊の稿本が、相異なる複数の内題を持つ部分から成る場合、それぞれの内題を、それらが記されている位置に、●印を付して挿入した。
- 4 種々の詩文稿を合綴した稿本の中には、いったん薄紙表紙を付けてまとめられた詩文稿を含んでいるものがある。この場合、その冒頭の箇所、薄紙表紙に記された題を、 で囲って挿入した。また、その末尾の箇所を、『印で示した。
- 5 種々の詩文稿を合綴した稿本の中には、体裁・内容などから、元々ひとまとまりであったと推定し得る部分を含んでいるものがある。この場合、その冒頭の箇所に、*印の注記を施し、末尾の箇所を、『印で示した。
- 6 各稿本に収められた三溪の作品には通し番号を付した。
- 7 三溪自身による序、題言、凡例などには番号を付けず、※印を付した。
- 8 三溪以外の人物による序、跋、詩文には番号を付けず、●印を付し、() に括弧で作者名を示した。
- 9 題のない作品には、仮の題を付け、「」に括弧で示した。内容などについての注記は() に括弧で記した。
- 10 詩については、その詩体を() に括弧で示した。
- 11 連作詩について、詩の数が詩題に明示されていない場合

八 や、その一部を節録している場合は、当該稿本に収録されている詩の数を（ ）内に示した。
漢字の字体は、原則として、現在通行の字体に統一した。
九 割書き、小書きの文字は（ ）に括弧で示した。

【四十】晴雪楼詩鈔（4冊 07／セ／2貫）

①分量 一冊
②書型 縦二二・六cm×横一五・〇cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ

③丁数 一三〇丁

④外題 「晴雪楼詩鈔 全」（表紙左肩、単枠書き題簽）

⑤内題等 なし

⑥序跋 なし

⑦備考

表紙と後表紙に薄紙表紙が貼り付けられている。表紙に貼り付けられたものには丁表左肩に打付書で「晴雪楼詩鈔甲集」とあり。後ろ表紙の方は丁裏に「晴雪楼詩鈔甲集」とあり。数種の詩稿を合綴したもの。構成は以下の通り。

(1)冒頭に「題言」とあり、諸家の序略・評・題詩を収める。三丁。

(2)冒頭に「晴雪楼詩鈔甲集卷上／江都 菊池純 子頭」とあり。二五丁。

(3)冒頭に「晴雪楼詩鈔甲集卷下／江戸 菊池純 子頭」と墨書、うち「甲集卷下」を朱線で抹消、右傍に「乙集」と朱書。二五丁。

(4)冒頭に「晴雪楼詩鈔乙集／平安 菊池純 子頭」とあり、(3)を補訂・清書したもの。二二丁。

(5)冒頭に「晴雪楼詩鈔／三溪 菊池純 子頭」とあり。九丁。

(6)冒頭に「晴雪楼詩鈔三稿／三溪 菊池純 子頭／緑

養集」とあり。一〇丁。

(7)無題。六丁。

(遊紙一丁)

(8)冒頭に「晴雪樓詩鈔二編卷之一／三溪 菊池純子頭／簾鬢集」とあり、安政五年から文久二年の詩稿。一二丁。

(遊紙二丁。ただし、二丁目表には「晴雪樓存稿」とあり。)

(9)冒頭に「晴雪樓詩存三稿／三溪 菊池純子頭／紫茄草舎摘稿」とあり、元治元年から慶応元年の詩稿。一〇丁。

(10)無題。五丁。

⑧目次

*一丁表一行目「題言」とあり。

・「諸家序略・評・題詩」(長戸得斎、友野霞舟、大槻磐溪、塩田松園、中村敬斎、菊池海莊、塩谷實山)』

*四丁表一／二行目「晴雪樓詩鈔甲集卷上／江都 菊池純子頭」とあり。

1 梅辺睡鶴図(七絶)

2 花鳥題画(五古)

3 平蟹行(七古)

4 宝泉精舎所見(七絶)

5 6 晚秋念七日、游十二叢。途中謾唸二首(五律)

7 備後三郎題詩図(七絶)

8 9 落花。次文衡山韻(七律三首)

11 深川晚帰矚目(五律)

12 13 象奕二首(五絶)

14 観角兵獅子戯(五古)

15 忠盛捉鬼図(七古)

16 中元賞月(七律)

17 初夏幽居(七律)

18 19 蟬蛻(七律二首)

20 副墨行(七古)

21 22 落葉二首(七律)

23 明智左馬介騎渡湖水図(七古)

24 常盤雪行図(七古)

25 涼雨竹窓(五絶)

26 冬日雜詠(七絶)

27 桃花放生図(七絶)

28 和州道中侍興(七古)

29 勢州道上願望高峰(五古)

30 33 四春詞(七古四首)

34 国府台覽古(七古)

35 継橋歌(七古)

36 初冬十二日、青山途上(七絶)

37 洗竹(七絶)

38 松山懷古(七古)

39 肇春望前一日、同家梅亭飲于龜精楼(七律)

40 42 夏昼雜詠三首(七律)

43 49 丁未鷄日、偶説張山來花鳥春秋。愛其文才雅潔、乃援

筆、得十二絶句(録七)(七絶七首)

50 点滴(七律)

- 51 華蠟燭歌 (七古)
 52 不忍池上寓目 (七絶)
 53 壳花声 (七絶)
 54 走馬灯行 (七古)
 55 小山梅塢宅集、同蕙堂作 (七律)
 56 四木村驟雨所見 (七絶)
 57 58 秋晚村居雜述二首 (七律)
 59 残月杜鵑図 (五絶)
 60 夏意 (七絶)
 61 52 梨花二首 (七律)
 63 夏山雨意図 (七絶)
 64 姥捨山、信中一名区、以月頭焉。某生、徳愚余一游。賦此
 辞焉 (七古)
 65 57 霞関春望三首 (七絶)
 68 御幣徽号歌 (七古)
 69 春雨訪友図 (七絶)
 70 571 寄広徳寺東流上人 (五律二首)
 72 574 西圃三首 (五古)
 75 平薩州宿花下図 (七絶)
 76 胡弓詞。懐司馬才郎 (七古)
 77 初夏偶成 (五律)
 78 演雅。詠園中野蔬雜卉、眎老圃某 (七古)
 79 590 華燭引十二首 (七絶)
 91 美人鬪雪。西昆体 (七古)
 92 594 中川舟行三首 (原十五首) (五律)
 95 源白石像贊 (七律)

- 96 古仏殿 (七古)
 97 牛疊行 (七古)
 98 歳杪夜坐 (七絶)
 99 粧閣行 (七古)
 100 墨水舟行図 (松園塩田君画) (五古)
 101 劉青田 (七律)
 102 新涼読書 (七絶)
 103 人影 (七律)
 104 六月十二日夕、月香楼、同小浦青厓、丸山竹所賦 (七律)
 105 5107 春晚、訪広沢文城青山寓居三首 (七律)
 108 5109 災後過水西二首 (七絶)
 110 風伯揮团扇図 (七律)
 111 雨夜雪意 (七絶)
 112 春宮詞 (七絶) 『
 *二九丁表一』二行目「晴雪楼詩鈔甲集卷下／江戸 菊池純
 子頭」と墨書、うち「甲集卷下」を朱線で抹消、右傍に
 「乙集」と朱書。
 113 根岸 (七律)
 114 5119 論国字文絶句 (七絶六首)
 120 読善相公封事 (七絶)
 121 八幡公与貞任馬上唱和図 (七古)
 122 5123 筆頭菜二首 (七律)
 124 柳外 (七絶)
 125 5126 詠十二支 (録二) (七絶二首)
 127 陶淵明 (七絶)
 128 春首書懐 (五律)

- 129 〽 130 月下墨田川二首（七絶）
 131 函嶺。有感北条氏事（七律）
 132 雲丁行（七古）
 133 相州道上（五律）
 134 南湖途上、觀富岳于左肩。俗呼曰左富士（五律）
 135 興津（七絶）
 136 別酒（七絶）
 137 〽 138 北野菅廟二首（五律）
 139 訪靄山画史于溪山無尽楼（七律）
 140 〽 142 溪山無尽楼寄題三首（原八）（七絶）
 143 〽 146 京城近郊、記所見四首（五古）
 147 花後出城（七律）
 148 二月初四日、訪香川某水莊。莊在鴨涯深林中、水木清華、幽邃可喜也（七律）
 149 盆栽小桜（七絶）
 150 嵐山（七古）
 151 〽 152 小倉山二首（五絶）
 153 凹軌行。過大津駅有感。賦此自勉（五古）
 154 〽 173 京寓雜詠（七絶二十首）
 174 霜夜望月（七絶）
 175 平氏西敗図（七古）
 176 七月六日晚間驟雨（七絶）
 177 秋晚露坐（七絶）
 178 回向院（七絶）
 179 読航米日録、書其後、呈存齋新見君（七古）
 180 〽 182 山水小景（五絶三首）

- 183 眉（香奩八詠、録二）（七絶二首）
 184 足（七絶）
 185 春晚書懷（七律）
 186 妙境院所囑。院在東台西境（七律）
 187 蝶衣（七律）
 188 鷲津毅堂過訪小酌（七律）
 189 春雨即事（七絶）
 190 〽 191 雨中觀寬永寺花二首（七絶）
 192 龜蟻村途上（七絶）
 193 〽 194 道灌山聞虫二首（七絶）
 195 寄題石川生舫亭（七絶）
 196 〽 197 風雨渡鬼怒川二首（七絶）
 198 蘇長公（七律）
 199 夜読（七絶）
 200 唸灯（七絶）
 201 読稗史（七律）
 202 筑波山（五古）
 203 新雁（七律）
 204 宋太祖雪夜訪趙普図（七古）
 205 殿山懷古（七古）
 206 〽 207 梅花。用高季迪韻（七律二首）
 208 〽 209 同前。用林二恥韻得六首（今録其二）（七律二首）
 210 人日口号（七絶）
 211 西山公（七律）
 212 秋柳（七絶）
 213 延喜帝寒夜脱御衣図（七絶）

- 214 読板倉氏伝（七律）
 215 小松川途上（七絶）
 216 ～ 219 谷莊秋晚雜詩四首（七律）
 220 墜葉（五律）
 221 夏夜即事（七絶）
 222 読會我物語（七古）
 223 富士野大獵図（七古）
 224 ～ 225 退筆二首（七絶）
 226 緑嶮養道上人、一見余詩、繆加嗟賞、竟蒙捐賞、刻二百余首、以嘉惠諸同人。感銘之余、賦此奉贈（五古）
 ＊五四丁表一～二行目「晴雪樓詩鈔乙集／平安 菊池 純子頭」とあり。
 227 根岸（七律）
 228 ～ 231 論国字文絶句（七絶四首）
 232 読書相公封事（七絶）
 233 八幡公与貞任馬上唱和図（七古）
 234 ～ 235 筆頭菜二首（七律）
 236 柳外（七絶）
 237 陶淵明（七絶）
 238 月夜下墨田川（七絶）
 239 函嶺。有感北条氏事（七律）
 240 雲丁行（七古）
 241 相州道上（五律）
 242 南湖途上、觀富岳于左肩。俗呼曰左富士（五律）
 243 興津（七絶）
 244 別酒（七絶）

- 245 ～ 246 北野菅廟二首（五律）
 247 訪靄山画史于溪山無尺楼（七律）
 248 ～ 250 溪山無尺楼寄題（原八）（七絶三首）
 251 ～ 253 京城近郊、記所見（原四）（五古三首）
 254 花後出城（七律）
 255 二月初四日、訪香川某水莊。莊在鴨涯深林中、水木清華、幽邃可喜（七律）
 256 盆栽小桜（七絶）
 257 嵐山（七古）
 258 ～ 259 小倉山二首（五絶）
 260 凹軌行。過天津駅有感。賦此自勉（五古）
 261 ～ 271 京寓雜詠（七絶十一首）
 272 霜夜望月（七絶）
 273 平氏西敗図（七古）
 274 七月六日晚間驟雨（七絶）
 275 秋晚露坐（七絶）
 276 読航米日録、書其後、呈存齋新見君（七古）
 277 ～ 279 山水小景（五絶三首）
 280 春晚書懷（七律）
 281 妙境院所矚。院在東台西境（七律）
 282 蝶衣（七律）
 283 春雨即事（七絶）
 284 ～ 285 雨中觀寛永寺花二首（七絶）
 286 龜蟻村途上（七絶）
 287 寄題石川生舫亭（七絶）
 288 風雨渡鬼怒川（七絶）

- 289 蘇長公（七律）
 290 夜読（七絶）
 291 唸灯（七絶）
 292 読稗史（七律）
 293 筑波山（五古）
 294 宋太祖雪夜訪趙普圖（七古）
 295 殿山懷古（七古）
 296 ～ 297 梅花。用高季迪韻（七律二首）
 298 ～ 299 同前。用林二恥韻得六首（今録二）（七律二首）
 300 西山公（七律）
 301 延喜帝寒夜脱御衣圖（七絶）
 302 読板倉氏伝（七律）
 303 ～ 306 谷莊秋晚雜詩四首（七律）
 307 墜葉（五律）
 308 夏夜即事（七絶）
 309 読曾我物語（七古）
 310 富士野大獵圖（七古）
 311 ～ 312 退筆二首（七絶）
 313 緑嶠養道上人、一見余詩、繆加嗟賞、竟蒙捐賞、刻二百余首、以嘉惠諸同人。感銘之余、賦此奉贈（五古）
 ＊七六丁表一 ～ 二行目「晴雪樓詩鈔／三溪 菊池純 子頭」
 とあり。
 314 鄭大木（七絶）
 315 菅公謫居図（七律）
 316 ～ 317 早雲寺吊古二首（七絶）
 318 ～ 324 論国字文絶句（七絶七首）

- 325 読三善清行封事（七絶）
 326 読橘直幹申文（七絶）
 327 読源伊陟菟裘賦（七絶）
 328 回向院（七絶）
 329 八幡公与宗任馬上唱和図（七古）
 330 ～ 332 風雨觀寬永寺花三首（七絶）
 333 根岸（七律）
 334 ～ 335 筆頭菜二首（七律）
 336 ～ 337 小金井觀花二首（七絶）
 338 屈原（七律）
 339 姥捨山、信中一名区、以賞月頭焉。某生、懲愚余一遊。賦此辞焉（七古）
 340 聽人読大岡越州稗史（七律）
 341 夜読（七絶）
 342 唸灯（七絶）
 343 書感（七律）
 344 春晚不寐（七律）
 345 胡澹菴（七律）
 346 ～ 347 風雨渡鬼怒川二首（七絶）
 348 野毛崎（七絶）
 349 春尽、雨中遡于墨水、觀新緑（七絶）
 350 ～ 351 宗忠簡（七絶二首）
 352 筑波嶺（五古）
 353 新夏静昼。次梅華道人韻（七律）
 354 ～ 359 福老田邨寓居雜唸（七絶六首）
 360 新荷出水（七絶）

- 361 〓 362 龜蟻途上二首 (七絶)
 363 流山旗亭所見 (七絶)
 364 遊仏眼山、呈松影上人 (七律)
 365 〓 366 寄題石川生舫亭二首 (七絶)
 367 夏晚湖上小酌 (七律)
 368 入谷村看牽牛花 (七絶)
 369 蓮荘所見 (七絶) 』
 * 八五丁表一〓三行目「晴雪樓詩鈔三稿〓三溪 菊池純 子
 頭〓綠蓑集」とあり。
 370 初用眼鏡 (五古)
 371 山王廟下消暑 (七絶)
 372 聞北里灯事盛、有此作 (七絶)
 373 〓 374 六月廿九日、猶龍窟避暑二首 (七絶)
 375 読李晩芳読史管見 (七絶)
 376 読曾我物語 (七古)
 377 富士野大獵図 (七古)
 378 青砥藤綱撈銭図 (七絶)
 379 〓 382 谷荘秋晩雜吟 (七律四首)
 383 王子村途上 (七絶)
 384 遊蝦存稿題詞。寄贈松園塩田翁 (七古)
 385 秋燕 (七律)
 386 画虎 (七律)
 387 真乳山 (七絶)
 388 平氏西敗図 (七古)
 389 〓 392 雪月故事。擬錢牧齋詠 (五古四首)
 393 過某侯廢苑 (七律)

- 394 秋晩、過東叡法王宮墻外、聽吹簫声 (七絶)
 395 北院看山 (仏眼山十勝之一) (七絶)
 396 墜葉 (五律)
 397 〓 398 蘇長公 (七律二首)
 399 稻葉一徹 (七絶)
 400 〓 401 詠木魚二首 (七律)
 402 枯尾花。賦似勁堂 (七律)
 403 〓 417 谷荘幽居雜詠 (七絶十五首)
 418 初冬山村小景 (五絶)
 419 同 (五絶)
 420 同 (五絶) 』
 * 九四丁裏は末尾二行空白、識語あり。よつて九五丁表以下
 は別の詩稿。
 421 〓 423 道灌山聞虫三首 (七絶)
 424 徂徠先生像贊 (七絶)
 425 盆荷露。似松菴、松堂二師 (五古)
 426 〓 427 胡奴折花図 (七絶二首)
 428 喜関本三泉至 (七絶)
 429 〓 435 詠今古英雄関係于文雅者 (七絶七首)
 436 加藤肥州刺虎図 (七絶)
 437 〓 440 題四君子図 (五絶四首)
 441 菱花行 (七古)
 442 〓 451 捕鯨詞 (七絶十首)
 452 読山田長政伝 (七絶)
 453 読浜田弥兵衛伝 (七絶)
 454 読金忠輔伝 (七絶)

455 読蝦夸曆二首（七絶）

457 二広墨蹟歌。贈馬島国手（七古）

458 半生（七絶）

*一〇二丁表一 三行目「晴雪楼詩鈔二編卷之一 / 三溪 菊

池純子頭 / 簾鬢集」とあり。

459 龍蛇集題詞（以下戊午稿）（五古）

460 461 月下墨田川二首（七絶）

462 春曉（七絶）

463 中秋月下独酌書感（七律）

464 送小浦青厓帰木州、賦長歌一篇（七古）

465 八月十九日、登晴雪楼觀彗星（七古）

466 送玉城久野君南征（七律）

467 勿来関図（以下己未稿）（七絶）

468 小桜（七絶）

469 賀某生新婚（七律）

470 花後過寛永寺（七絶）

471 春鶯轉曉（七絶）

472 送倉田袖岡歴岐岨帰南紀（七律）

473 寒夜過白虎門（七絶）

474 寛猛相救図。送古山某之新潟（以下庚申稿）（七古）

475 吹上外苑觀黃豹兒（七絶）

476 溪莊小集。分韻得松字（七絶）

477 春夕微雨（七絶）

478 479 新正第三夕、大城拝觀伶官奏散楽（以下辛酉稿）（七

絶二首）

480 481 二月三日、妙境院所囑（七律二首）

482 書謙齋河尻君所購得薄紙製林園月令卷尾（七律）

483 存益新見君、藏紫端硯一枚。秀潤滑沢、能發墨色。蓋今大

君加冠盛典恩賜之余、所購得。繼有国史刪補之命。乃賦小

詩、書其研背（七律）

484 偶感（七律）

485 秋晚露坐（七絶）

486 490 春晚雜唸五首（以下壬戌稿）（七絶）

491 読広瀬青村贈家大人長篇（七律）

492 連日風旱、二月廿一日始雨（七律）

493 星夕前二日、小楼晚酌、書懷（七律）

494 七月六日、晚間驟雨（七律）

495 496 中元前三夕、邀叔弟、西楼賞月（七絶二首）

497 涼雨竹窓図（五絶）

498 副墨行（七古）

499 500 落葉二首（七律）

501 胡枝花（七律）

502 松山懷古（七古）

503 秋涼（七絶）

*一六丁表一 三行目「晴雪楼詩存三稿 / 三溪 菊池純子

頭 / 紫茄草舍摘稿」とあり。

504 505 退筆二首（以下甲子）（七絶）

506 重陽風雨（七絶）

507 陶淵明（七絶）

508 十月十四日、二更、月明如昼。曉窓聽雨（七絶）

509 小春（七絶）

510 橘姫（七絶）

511 梅辺睡鶴図（七絶）

512 嘲鶴（七絶）

513 京城清明（七絶）

514 ～ 517 詠十二支（今録其四）（七絶四首）

518 詠梅（七絶）

519 源九郎（七絶）

520 甲子歳晚（七律）

521 南紀伊藤蘭叢過訪（五律）

522 探梅（七絶）

523 霜夜望月（七絶）

524 元旦街上所見（以下乙丑）（七絶）

525 正月十四日、同家梅亭飲于亀精楼。此日微雨（七律）

526 代某生贈故人（七律）

527 江上送人図（七絶）

528 江東春首（七絶）

529 ～ 533 分賦古今英雄関係于文雅者、得五絶句（七絶五首）

534 豊太閣楮戦袍歌。贈鬱谷嶺亭長石川氏（七古）

535 湖上寓目（七絶）

536 ～ 539 京城山水、明麗秀媚、無物可比也。余、東帰後、尚往

来於心目、不忍割愛。乃搜其胸臆、記当日所寓目（五古四首）

540 春首書感（五律）

541 鷺津毅堂過訪小酌（七律）

542 春雨即事（七絶）

543 読航米日録、書其後、呈示存叁新見君（七古）』

* 一二五丁は表五行目以降空白、識語あり。よつて一二六丁

表以下は別の詩稿。

544 猶龍窟（五古）

545 聽松菴招飲。分章句、得葉字（七絶）

546 晚秋初三、松影上人、拉二詩僧所過。席上有詩。次其韻（五絶）

547 無心（五律）

548 録近業、乞松園先輩批評（五律）

549 御行松（七絶）

550 風雨、近重陽、無聊甚、有此作（七律）

551 博浪沙（七絶）

552 ～ 553 聽松影道人吹簫、喜而賦二首（七絶）

554 ～ 555 名妓地獄坐禪図二首（七絶）

556 ～ 558 詠唐宋名家（七絶三首）

559 赤羽橋（七律）

560 池上愛蓮図（七絶）

561 窓前芳草図（七絶）

562 毅軒望月学士、批余近製所還。賦八句答謝（七律）

563 都鳥（七律）

564 古鏡（七律）

565 山房寒雨（七絶）

566 山下晚晴。帯経舎課題（七絶）

567 ～ 569 龍門寺後園觀楓、楓已凋謝。更登其新築仮山（七絶三首）

570 題僧月仙画雪月梅花双軸。寄聽松上人（七古）

571 寒夜江上（七絶）

572 待渡図（七絶）

【四十一】晴雪楼詩鈔甲集（4・07／セ／3貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二三・五cm×横一六・七cm、縹色表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 二七丁
- ④外題 「晴雪楼詩鈔（甲集）」（表紙左肩、無梓書き題簽、隸書）
- ⑤内題等 内題「晴雪楼詩鈔（甲集）」
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 内題「甲集」は貼り紙、下には「甲集卷上」とあり。
『晴雪楼詩鈔』（4・07／セ／2貴）の①、②を推敲
・浄書したもの。
- ⑧目次
 - ・「諸家序略・評」（友野霞舟、長戸得齋、大槻磐溪、塩田松園、中村敬齋）
 - 1 梅辺睡鶴図（七絶）
 - 2 花鳥題画（五古）
 - 3 平蟹行（七古）
 - 4 宝泉精舎所見（七絶）
 - 5～6 晩秋念七日、游十二叢。途中謾吟二首（五律）
 - 7 備後三郎題詩図（七絶）
 - 8～10 落花。次文衡山韻（七律三首）
 - 11 深川晚帰矚目（五律）
 - 12～13 象奕二首（集周易語）（五絶）
 - 14 観角兵獅子戯（五古）
 - 15 忠盛捉鬼図（七律）

- 16 中元賞月（七律）
 17 初夏幽居（七律）
 18 ～ 19 蟬蛻（七律二首）
 20 副墨行（七古）
 21 ～ 22 落葉二首（七絕）
 23 明智左馬介騎渡湖水図（七古）
 24 常盤雪行図（七古）
 25 涼雨竹窓（五絶）
 26 冬月雜詠（七絶）
 27 桃花放牛図（七絶）
 28 和州道中侍輿（七古）
 29 勢州道上願望高峰（五古）
 30 ～ 33 四春詞（七古四首）
 34 国府台覽古（七古）
 35 繼橋歌（七古）
 36 初冬十二日、青山途上（七絶）
 37 洗竹（七絶）
 38 松山懷古（七古）
 39 肇春望前一日、同家梅亭、飲于龜精樓（七律）
 40 ～ 42 夏昼雜詠三首（七律）
 43 ～ 49 丁未鷄日、偶詠張山來花鳥春秋。愛其文才雅潔、乃援
 筆、得十二絶句（録七）（七絶七首）
 50 点滴（七律）
 51 華蝨燭歌（七古）
 52 不忍池上寓目（七絶）
 53 壳花声（七絶）
- 54 走馬灯行（七古）
 55 小山梅塢宅集、同蕙堂作（七律）
 56 四木邨驟雨所見（七絶）
 57 ～ 58 秋晚村居雜述二首（七律）
 59 残月杜鵑図（五絶）
 60 夏意（七絶）
 61 ～ 62 梨花二首（七律）
 63 夏山雨意図（七絶）
 64 姥捨山、信中一名区、以月頭焉。某生、懲憑余一游。賦此
 辞焉（七古）
 65 ～ 67 霞関春望（七絶三首）
 68 御幣馬標歌（七古）
 69 春雨訪友図（七絶）
 70 ～ 71 寄広徳寺東流上人（五律二首）
 72 ～ 74 西圃三首（五古）
 75 平薩州宿花下図（七絶）
 76 胡弓詞。懷司馬才郎（七古）
 77 初夏偶成（五律）
 78 演雅。詠園中野蔬雜卉、眎老圃某（七古）
 79 ～ 90 華燭引十二首（七絶）
 91 美人鬪雪。西昆体（七古）
 92 ～ 94 中川舟行三首（五律）
 95 源白石像贊（七律）
 96 古仏殿（七古）
 97 牛疊行（七古）
 98 歲杪夜坐（七絶）

99 粧閣行（七古）

100 墨水舟行図（松園塩田君画）（五古）

101 劉青田（七律）

102 新涼読書（七絶）

103 人影（七律）

104 六月十二夕、月香楼、同小浦青厓、丸山竹所賦（七律）

105 ～ 107 春晚、訪広沢文城青山寓居三首（七絶）

108 ～ 109 災後過水西二首（七絶）

110 風伯揮团扇図（七律）

111 雨夜雪意（七絶）

112 春宮詞（七絶）

【四十二】西洞新居集（4・07／セ／4貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・六cm×横一五・六cm、縹色布目表紙、四つ目綴じ

綴じ

③丁数 二〇丁

④外題 「西洞新居集」（表紙左肩、子持梓書き題簽）

⑤内題等 内題「西洞新居集（甲戌）」

⑥序跋 自序

⑦備考 表紙右下隅に「甲戌」と朱書き。明治七年、西洞院転居後の詩を収める。

居後の詩を収める。

⑧目次

※「自序」

1 元旦雑述（七絶）

2 一月初八、訪山中静一水荘。荘在霜鴨村西渡（七律）

3 ～ 4 摘菜（七絶二首）

5 春寒鶯難到（七古）

6 ～ 7 竹田途上所見（七絶二首）

8 宇治道上（五律）

9 ～ 10 諸葛春耕図（七絶二首）

11 雪日即事（七絶）

12 松芝図（七絶）

13 ～ 14 上元前一夕、黄石先輩、双橋詞兄過訪。分蓬門今始為

君開、得君字（七律二首）

15 乞梅（七絶）

16 題環碧楼。楼南摩士張読書処（七律）

- 17 画山水図（五絶）
 18 ～ 19 春寒勒花（七絶二首）
 20 ～ 21 寄贈岡本黄石翁索和（七律二首）
 22 菅公（七絶）
 23 楼上春雨（七絶）
 24 書屈陶合刻後（七絶）
 25 春夜城中所見（七絶）
 26 諸葛春耕図（七絶）
 27 求梅（七絶）
 28 靈芝図（七絶）
 29 ～ 35 四月一日、四条橋建築役竣、官照例行開橋儀。因記所見、伝其盛事（七絶七首）
 36 題琴水女史書画帖（七絶）
 37 捕魚歌（印須社課題）（七絶）
 38 花後游華頂山（七絶）
 39 ～ 47 輕氣毬図（七絶九首）
 48 東山冶春。次双橋韻（七絶）
 49 南宮拜石図（七絶）
 50 春草（七絶）
 51 ～ 54 買茉莉（七絶四首）
 55 竹醉日移竹（七絶）
 56 ～ 57 上長樂閣二首（五律）
 58 四条橋所見（七絶）
 59 四月十六日、赴村田香谷小集（七絶）
 60 祝融行（七古）
 61 送南摩羽峰東行、兼贈石津子儉（七律）

- 62 ～ 63 開片子山子業新婚寄贈（七律二首）
 64 ～ 65 贈壳水人（七絶二首）
 66 放舟溪上（七絶）
 67 饒南摩羽峰心徵赴東京、諸同人設宴于鴨西旭樓。此日会者、岡本黄石、頼支峰、神山鳳陽、江馬天江、林双橋、小林卓叁、村田香谷、片山精堂、市村水香、而余亦与焉。分細雨魚兒出、微風燕子斜句、得雨字（七絶）
 68 倒步前韻（七絶）
 69 ～ 70 山居初秋（七絶二首）
 71 竹葉亭即事（七絶）
 72 天王寺（七絶）
 73 寄贈磐溪翁、謝其所惠愛古堂集（七古）
 74 次石津子儉見贈詩韻（七絶）
 75 寄似灌園在東京（七絶）
 76 ～ 79 六月初八、同黄石、支峰、鳳陽、天江諸子、招飲小野湖山于鴨西旭樓。坐有貞信尼。原鴨東名妓。席上詠和歌、以寄贈湖山。詞意超凡、頗寓渴想意。因分歌中字、得東高君名（七絶四首）
 80 七月二十八日、同河合生、飲四条磧于涼棚、賦似詩僧逸心（七律）
 81 醉芙蓉初花（七絶）
 82 收芋栗（七絶）
 83 ～ 84 敝裘（七律二首）
 85 ～ 87 壳劍換妾（七絶三首）
 88 暑夜（五律）
 89 湖上（七絶）

90 八月九日、此日秋立、寓榻夜坐（七律）

91 寇萊公（七絶）

92 早起看牽牛花（七絶）

94 蘆岸秋晴（六言四句四首）

98 九月十日、同諸子飲于鴨西水亭。分天意憐幽草、人間重晚晴句、得晴字（七絶）

99 題窮理短簡首（佐久間生嘯）（五絶）

100 旅夜乞宿不許（七絶）

101 素心蘭（岡本黃翁席上）（七絶二首）

103 石州岩間生、為人至孝根于心、朝野嗟稱。事聞朝廷、今茲甲戌某月、為下旌表典、以褒其孝義。蓋異數也。友人尾碕双松、囑予其賀詩。乃欣然援筆、以表錫類之喜（七絶）

104 宋僖宗画図（七絶）

105 岳少保（七律）

106 寒雨乍晴（七絶）

107 信玄攻海野城図（七絶）

【四十三】彫虫詩抄（4 / 07 / ち / 1 貴）

①分量 一冊

②書型 縦二六・六cm×横一七・九cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 八丁

④外題 「南摩羽峰評／菊池三溪手記／彫虫詩抄 完」（表紙左肩、打付書）、「彫虫詩抄 完」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「彫虫詩抄」

⑥序跋 なし

⑦備考 なし

⑧目次

1 3 城中所見（七絶三首）

4 題房山図卷（工藤敬齋嘯）（七古）

5 遊真光精舎後園。園有小茶寮。蓋不昧公所創造（七律）

6 日暮里晚歸所囑（五律）

7 聞虫（七律）

8 新雁（七律）

9 10 美人十詠（折二）（七絶二首）

11 夜間落葉（七律）

12 文覚上人図（七絶）

13 19 観捕鯨図卷（七絶七首）

20 鶴岡（七律）

21 腰越（五絶）

22 橋場（七律）

23 今戸（七律）

24 松尾芭蕉（七律）

25 宝井其角（七律）

26 佐倉客舎、談及義民宗吾事、慨然有此作（七古）

27 成田山（七律）

28～33 観角舩戯（七絶六首）

【四十四】八百八橋春水来集・襄陵集（4・07／ハ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・三cm×横一六・一cm、黄色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 一二丁

④外題 「八百八橋春水来集／襄陵集」（表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題（一）「八百八橋春水来集（起甲申一月／畢其十二月）」、内題（二）「襄陵集（起乙酉一月／至其十二月）」

⑥序跋 二集それぞれ自序あり、「八百八橋春水来集」序の日は明治十七年三月下旬

⑦備考 表紙右下隅に「申酉」と朱書。明治十七、十八年の詩を収める。当時三溪は大坂府一等教諭として大阪にあり。

⑧目次

●八百八橋春水来集（起甲申一月／畢其十二月）

※「自序」

1 雪尽（七絶）

2 大仁村吊王仁堂（七古）

3 花後有感（七絶）

4 韓昌黎（七絶）

5～7 雪中鴛鴦三首（七律）

8 梅熟（七絶）

9～10 寄題春日村莊。贈清海氏二首（七律）

11 読古詩平仄論。贈森大来（七古）

12 〱 13 曾根崎村僑居雜詠（七絶二首）

14 高槻途上（七絶）

15 〱 16 買大刀魚（七絶二首）

17 龍山宇都宮翁招飲。同初堂賦（七律）

18 霜夜（七絶）

19 〱 20 聞成島柳北訃、悵然賦（七律二首）

21 惟任光秀湖中投供具図（七絶）

● 襄陵集（起乙酉一月／至其十二月）

※「自序」

22 桃源図（七絶）

23 雪日所見（七絶）

24 分風雲月露單詠風（七絶）

25 春晚村居書事（七絶）

26 病起（七律）

27 〱 28 豆腐二首（七絶）

29 番氏明牽裾図（七絶）

30 夏初間詠（七律）

31 楠公訣児松（七絶）

32 詠松祝某甫華年（七絶）

33 〱 42 洪水紀事十首（七絶）

43 予讓（七絶）

44 暑退（七絶）

45 秋晚村居雜咏（七絶）

46 謙信賞月図（七絶）

47 中秋無月、午夜放晴（七律）

48 十月十八日、鴨西途上所見（七絶）

49 大江広元（七絶）

50 十月十八日、緒方拙齋招飲。用秋谷西先輩餞別詩韻、送其

西帰（七律）

51 〱 55 浪華雜詠（七絶五首）

56 冬初四条橋所見（七絶）

57 〱 58 詠岐阜提灯二首。次依田学海詩韻（七律）

59 〱 63 誦清名家詩文集（七絶五首）

【四十五】雨辰余筆（4・42／ウ／1貴）

①分量 二卷一冊

②書型 縦二二・二cm×横一五・一cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 二九丁

④外題 「菊池純稿／雨辰余筆 完」（表紙左肩、打付書）、「雨辰余筆（香雲楼新著／十種之一）」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「雨辰余筆卷之一」「二」

⑥序跋 菊池梅軒序（安政二年十二月）、自序「雨辰余筆自叙」（安政二年十一月）、三溪「題言」（安政二年十一月）

⑦備考 安政二年（一八五五）安政大地震の見聞記。

⑧目次

・[序]（菊池梅軒）

※雨辰余筆自叙

※題言

※雨辰余筆目次

●雨辰余筆卷之一

1 与岩橋柳窓副紙

2 新婦断臂

3 義舎

4 北里焚死

5 都下震倒戸数

6 浅草浮屠閣

7 酒舗会飲

8 貧家女兒

9 藩士話

10 蒼鷹獲鷓鴣

11 災後過水西故墟詩

12 娼妓処置

13 鬻霜柿者

14 諸刹脩冥福

15 豪賈賑窮氓

16 湖山外史災後作

17 品海礮塙（以下四則榊苗洲所記。附而伝之）

18 緇徒殮葬

19 治火水榼

20 浴室罵婦

●雨辰余筆卷之二目次

※雨辰余筆卷之二

21 狐精知災

22 袖中馬毛

23 靈水自出于地

24 城中雨魚

25 盜賊訛言

26 雷公騎神馬避災

27 北里懷古詩

28 審災上

29 審災下

・書雨辰余筆後二首（関藍梁、七絶）

【四十六】 依様画胡盧（4・47／イ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二一・四cm×横一三・三cm、肌色布目表紙、四つ目

綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 九丁

④外題 「依様画胡盧（一）」（表紙左肩、子持粹書き題簽、その右傍に「菊池純稿」と打付書）、「依様画胡盧 一」

（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「依様画胡盧卷之一」

⑥序跋 風白月香楼主人「序」（元治元年）

⑦備考 元治元年上京時の文。

⑧目次

・序（風白月香楼主人）

1 〃 2 「嵐山」

3 「詩仙堂」

4 「水西堂・溪山無尽楼」

5 「香川氏山荘」

6 「守山房政猷華表于狐廟」

7 「新見存齋蘆葉墨斗」

8 「明樂君白銅文鎮」

9 「書四条磧納涼図後」

10 「糺森納涼」

【四十七】 閑言語（4・47／カ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二一・三cm×横一三・二cm、肌色布目表紙、四つ目

綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 一〇丁

④外題 「菊池純稿／閑言語 完」（表紙左肩、打付書）、「閑言語 完」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「閑言語」

⑥序跋 亡是道人「叙」（慶応三年五月）

⑦備考 内題次行著者名は「烏有居士戲述」とあり。昔話、説話の漢訳。

⑧目次

・叙（亡是道人）

1 狸兔報讐

2 孝雀

3 僧父

4 雷公壳白雨

5 五色

6 西施乳

【四十八】 皇朝故事成語考（4・85／コ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦一八・八cm×横一三・三cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ 改装本（本文と同じ料紙（四周双辺、有界八行）を表紙にした一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 一八丁

④外題 「皇朝故事成語考 菊池三溪稿本 完」（表紙左肩、打付書）、「皇朝故事成語考」（一丁目共紙表紙二行目、打付書）

⑤内題等 内題「皇朝故事成語考卷之一」

⑥序跋 なし

⑦備考 柱に「増補日本外史称呼訓卷」とあり。「天文」「地輿」「歳事」の三編を収める。それぞれ題について故事を中心に記述し、末尾には「参考」として、その出典を示す。ただし、「歳事」には「参考」なし、未完か。明治に入ってから作。

⑧目次

1 天文

2 地輿

3 歳事

【四十九】 政記論文国字解（5・03／セ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・九cm×横一五・〇cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ 改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 一六丁

④外題 「政記論文国字解一（菊池三溪稿本）」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「政記論文国字解一」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「日本政記論文国字解卷之一」、内題の次に「頼

襄子成著／菊池純子顕解」とあり

⑥序跋 なし

⑦備考 『日本政記』の論文の国字解。

⑧目次

1 神武天皇

2 綏靖至崇神

3 垂仁天皇

4 景行天皇

5 成務至仲哀

6 応神天皇

【五十】南紀名賢録 (5・63/ナ/1貴)

①分量 一冊(原三冊)

②書型 縦二三・七cm×横一六・一cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本(薄紙表紙三冊本を、厚紙表紙を付けて合綴している)

③丁数 一三五丁(原第一冊四四丁、原第二冊五三丁、原第三冊三八丁、各冊第一丁は元の薄紙表紙)

④外題 「南紀名賢録(菊池三溪稿本/六卷合本)」「表紙左肩、子持粹書き題簽)」、「南紀名賢録自一至二」「自三至四、自五至六」(原装各冊一丁目薄紙表紙左肩、打付書。原第一冊薄紙表紙の外題は、もと「紀史備考」とあつた上に紙を貼り書き改めたもの。原第二冊薄紙表紙の外題は、もと「紀史備録二、三」とあつた上に紙を貼り書き改めたもの)

⑤内題等 内題「紀史備考卷之一」「三」(原第一、二冊本文冒頭にあり。もと「南強録卷之一」「二」とあつた上に紙を貼り書き改めたもの)

⑥序跋 なし

⑦備考 凡例題はもと「南紀名賢録凡例」とあつた上に紙を貼り、「紀史備考凡例」と書き改める。目録が備わるが、本文の内容・構成とは大きく異なる。藩主、重臣から学者、武芸者にいたるまで、和歌山藩の人物の伝記を広く集めた書。凡例の日付は安政四年十一月。凡例によれば、一部は「二十年前」に書かれたもので、その後、斎藤南溟、遠藤鶯谷とともに本書編纂の命を受け

⑧目次

たが、間もなく南溟、鶯谷は相次いで死去、その跡を三溪が引き継ぎ完成させたのだと言う。二丁目袋状になつている中に南龍公伝贊の草稿一枚あり。一九丁目と二〇丁目の間に安藤直次伝贊の草稿一枚あり。最終丁袋状になつている中に歌稿一枚(赤色薄紙)あり。

南紀名賢録自一至三

※紀史備考凡例(凡例題は、もと「南紀名賢録凡例」とあつた上に紙を貼り書き改めたもの)

※紀史備考目録

●紀史備考卷之一

- 1 南龍公
- 2 香巖公
- 3 安藤直次
- 4 安藤直治
- 5 水野重良
- 6 久野宗俊
- 7 山中友俊
- 8 加納直恒
- 9 大崎玄蕃
- 10 村上茂清
- 11 大高重高
- 12 松平忠尚
- 13 松野惣太郎
- 14 高井伊織
- 15 栗生源吾左衛門

16 若林養元

〔南紀名賢錄自三至四〕

●紀史備考卷之三

17 那波活所

18 那波木菴

19 永田善齋

20 永田格菴

21 李真栄

22 李衡正

23 荒川景元

24 榭原篁洲

25 榭原霞洲

26 榭原滄洲

27 蔭山東門

28 華岡青洲

29 野呂介石

30 妹尾邦昌

31 池永斧太郎

32 田宮平兵衛

33 川合春川

34 長井万年

35 斎藤世甫

36 斎藤実蕃

37 斎藤南溟

38 仁井田南陽

39 遠藤鶴洲

〔南紀名賢錄自五至六〕

40 野呂松廬

41 祇園南海

42 祇園殫霞

43 金谷玉川

44 佐野隱山

45 本居宣長

46 有馬元函

47 榭原篁洲

48 榭原霞洲

49 榭原桃源

50 榭原青洲

51 榭原滄洲

52 榭原蘭洲

53 宮瀬龍門

【五十一】続大統歌（5・64／ソ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二五・九cm×横一七・七cm、香色表紙、四つ目綴じ、
改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直
している）

③丁数 八丁

④外題 「菊池純稿／続大統歌 完」（表紙左肩、打付書）、「続
大統歌 完」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「続大統歌」

⑥序跋 自序「続大統歌叙」（明治六年二月）

⑦備考 後水尾天皇以降の国史を詠じた四言詩。文石堂主人の
需めに応じ、塩谷右陰「大統歌」の欠を補ったもの。

⑧目次

※続大統歌叙

1 続大統歌

【五十二】東京写真鏡（甲）（5・83／ト／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二六・九cm×横一八・五cm、肌色布目表紙、四つ目
綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて
綴じ直している）

③丁数 八丁

④外題 「東京写真鏡（菊池三溪手稿）」（表紙左肩、子持梓書
き題簽）、「東京写真鏡」（二丁目薄紙表紙左肩、打付
書）

⑤内題等 内題「東京写真鏡」

⑥序跋 なし

⑦備考 なし

⑧目次

1 写宝鼎流館（七古）

2 写真真鏡（七古）

3 写人軛車（七古）

4 写洋人曲馬（七古）

5 写鳶衫（七古）

6 写電信機（七古）

7 写博覧会（五古）

8 写新聞紙（五古）

9 写楮幣（七古）

10 写屠牛店（五古）

11 写馬車（七古）

12 写蝙蝠傘二首（七律）

【五十三】東京写真鏡(乙) (5・83/ト/2貴)

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二二・六cm×横一四・〇cm、縹色布目表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 一四丁
- ④外題 「東京写真鏡 全」(表紙左肩、子持梓書き題簽)
- ⑤内題等 内題「東京写真鏡」
- ⑥序跋 神山鳳陽「東京写真鏡叙」(明治六年五月)、南摩羽峰「叙」(明治七年六月)、片山精堂「叙」(明治六年十一月)、成島柳北「序」(明治六年九月)、石津灌園「跋」(明治六年七月)
- ⑦備考 『東京写真鏡』(甲)(5・83/ト/1貴)に朱で書き込まれていた川田壘江の評語が、本文に組み込まれているから、それよりは後の段階の稿本である。後ろ見返しには三溪宛石津灌園書簡(十一月七日付)が貼り付けられている。
- ⑧目次
 - ・東京写真鏡叙(神山鳳陽)
 - ・叙(南摩羽峰)
 - ・叙(片山精堂)
 - ・序(成島柳北)
 - 1 写宝鼎留館(七古)
 - 2 写真真鏡(七古)
 - 3 写人転車(七古)
 - 4 写洋人曲馬(七古)

- 5 写蔦杉（七古）
- 6 写博覧会（五古）
- 7 写新聞紙（五古）
- 8 写楮幣（七古）
- 9 写馬車（七古）
- 10 写蝙蝠傘（七律）
- 11～18 写城中所見（七絶八首）
- ・跋（石津灌園）

【五十四】観梅遊記（甲）（5・85／カ／1貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二三・八cm×横一六・〇cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 一三丁
- ④外題 「観梅遊記 附観梅余香 菊池三溪稿本 完」（表紙左肩、打付書）
- ⑤内題等 内題「観梅遊記」、附録内題「観梅余香」
- ⑥序跋 林学斎「題言」（慶応二年二月）、三溪「緒言」（慶応二年三月）
- ⑦備考 慶応二年正月、杉田観梅の記および詩。
- ⑧目次

・題言（林学斎）

※緒言

●観梅遊記

1～7 記一～七

8 従能見堂眺金沢八勝記

9 金沢四時総宣亭記

●観梅余香

10～23 今年丙寅王月鶏日、与越人兒北溟、同游亀戸小邑并諸梅莊、相借約押林句、作一詩。既而北溟詩先成、余未獲隻句。数日後、北溟過訪、督余詩曰、中村、望月二学士詩已成矣。何其德邪。亡何有杉田観梅行。頗若有獲梅花之祐者矣。輒沈吟半日、押林句、得五古体十四首。以補足游記之漏云（五古十四首）

【五十五】 観梅遊記 (乙) (5・85/カ/2貴)

①分量 一冊

②書型 縦二四・五cm×横一六・九cm、水色表紙、四つ目綴じ

③丁数 一五丁

④外題 「観梅遊記(付観梅余香) 完」(表紙左肩、無梓書き題簽)

⑤内題等 附録内題「観梅余香」

⑥序跋 林学斎「題言」(慶応二年二月)、塩田松園「跋」(慶応二年三月)

⑦備考 『観梅遊記』(甲)(5・85/カ/1貴)を増訂したものの。

⑧目次

・題言(林学斎)

157記一5七

8 從能見堂眺金沢八勝記

9 金沢四時総宜亭記

●観梅余香

10523 今年丙寅王月鶏日、与越人兒北溟、同游亀戸小邑井諸梅荘、相偕約押林句、作一詩。既而北溟詩先成、余未獲隻

句。数日後、北溟過訪、督余詩曰、中村、望月二学士詩已

成矣。何其儻邪。亡何有杉田観梅行。頗若有獲梅花之祐者

矣。輒沈吟半日、押林句、得五古体十四首。以補足游記之

漏云(五古十四首)

24535 元旦、江東探梅、得十二絶句(七絶十二首)

36 賦観梅詩、寄敬斎中村学士、兼呈祭酒学斎林先生研北(七

絶)

37538 丙寅鶏日、亀戸村看梅。句首蒙以林潭一聯(五古二首)

・跋(塩田松園)

【五十六】西上集（5・85／サ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二一・二cm×横一四・〇cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 七丁

④外題 「菊池純稿／西上集 単」（表紙左肩、打付書）、「西上集 単」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「西上集卷之一」

⑥序跋 自序「西上集自叙」（文久四年）

⑦備考 文久三年十二月から翌四年にかけて、將軍家茂の西上に扈從した際、道中で得た詩をまとめたもの。自序は「平安千樹街維鵲巢居」で書かれている。

⑧目次

※西上集自叙

1 臘月二十二日発江戸（七絶）

2 相州道上（五律）

3 4 南湖途上、觀富岳于左辺。俗呼曰左富士。蓋都人発江戸、富岳常在其右辺。此郷、独在其左辺也（五絶二首）

5 沼津客舎、主人索予詩、席間走筆（七絶）

6 7 吉原駅、縦觀富岳之晴雪、快甚（七絶二首）

8 興津所見（七絶）

9 客中春立（時在府中客舎）（五律）

10 涉天龍川、有感時事、作天龍歌（七古）

11 雲丁行（七古）

12 過觀潮坂（七絶）

13 参尾之間、有感烈祖創業之事（七律）

14 16 尾州客舎迎年三首（七絶）

17 18 江州途上二首（七絶）

19 過勢美之界（五絶）

20 曉過湖上（七律）

21 大津客舎聽鐘（七絶）

22 轎中雜興（原二）（七絶）

23 入京（七律）

【五十七】東下録（5・85／ト／1貴）

- ①分量 二巻一冊
- ②書型 縦二一・四cm×横一三・二cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）
- ③丁数 九丁
- ④外題 「菊池純稿／東下録一」（表紙左肩、打付書）
（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）
- ⑤内題等 内題「東下録卷之一」「二」
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 元治元年夏、京から江戸へ帰った際の紀行文。巻二には「甲子七月初二草記」「甲子七月十七日云々」という割注があり、この頃の成立と見られる。
- ⑧目次

- 東下録卷之一
 - 1 「巻一本文」
 - 2 「巻二本文」
- 東下録卷之二

【五十八】波山遊記（5・85／ハ／1貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二六・五cm×横一八・四cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）
- ③丁数 七丁
- ④外題 「波山遊記（菊池三溪稿本）」（表紙左肩、子持粹書き題簽）、「波山遊記 完」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）
- ⑤内題等 なし
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 なし
- ⑧目次
1～4 登筑波山遊記1～4

【五十九】 読史戦論(甲) (8・28/ト/1貴)

①分量 一冊

②書型 縦二二・八cm×横一五・七cm、縹色布目表紙、四つ目

綴じ

③丁数 四〇丁

④外題 「読史戦論 全」(表紙左肩、子持梓書き題簽)

⑤内題等 内題「読史戦論」

⑥序跋 石津灌園「読史戦論序」(明治六年八月)

⑦備考 史上有名な合戦について論じた文を収める。

⑧目次

・読史戦論序(石津灌園)

1 一谷・栗殻

2 渡辺橋・三方原

3 厳島・河越

4 川中島

5 桶狭間・鴻台

6 長篠

7 山碓

8 小田原

9 碧蹄館上

10 碧蹄館下

11 新塞

12 柳瀬・長久手一

13 柳瀬・長久手二

【六十】 読史戦論(乙) (8・28/ト/2貴)

①分量 一冊

②書型 縦二三・三cm×横一六・〇cm、肌色布目表紙、四つ目

綴じ、改装本(薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて

綴じ直している)

③丁数 三四丁

④外題 「読史戦論」(表紙左肩、子持梓書き題簽)、「読史戦論」

(一丁目薄紙表紙左肩、打付書)

⑤内題等 内題「読史戦論」

⑥序跋 石津灌園「読史戦論序」

⑦備考 『読史戦論』(甲)(8・28/ト/1貴)とほぼ同文。

甲本に朱書された訂正が反映されているので、より後

の段階の稿本である。

⑧目次

・読史戦論序(石津灌園)

1 一谷・栗殻

2 渡辺橋・三方原

3 厳島・河越

4 川中島

5 桶狭間・鴻台

6 長篠

7 山碓

8 小田原

9 碧蹄館上

10 碧蹄館下

11 新塞

12 柳瀬・長久手一

13 柳瀬・長久手二

【附録一】四書集註（1・66／シ／2貴）

版本五冊。縦二・六cm×横一五・四cm。香色表紙、四つ目綴じ。有界八行一七字。

第一冊 外題「四書集註（菊池純手批）」一（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「学庸」全（表紙左肩、子持梓書き題簽）。内題「大学」「中庸」。

第二冊 外題「四書集註（菊池純手批）」二（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「論語」朱註 一（表紙左肩、無梓書き題簽）。内題「論語卷之一」〔五〕。

第三冊 外題「四書集註（菊池純手批）」三（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「論語」朱註 二（表紙左肩、無梓書き題簽）。内題「論語卷之六」〔十〕。

第四冊 外題「四書集註（菊池純手批）」四（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「孟子」朱註 上（表紙左肩、無梓書き題簽）。内題「孟子卷之一」〔三三〕。

第五冊 外題「四書集註（菊池純手批）」五終（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「孟子」朱註 下（表紙左肩、無梓書き題簽）。内題「孟子卷之四」〔七〕。

第五冊末尾に刊記、「二条通御幸町東_江入町／柏屋四郎兵衛」とあり。

全冊に亘り多数の書入あり。

【附録二】学聚堂叢書（4・02／カ／7貴）

写本二二冊。縦二二・八cm×横一六・〇cm（第一冊。他もほぼ同じ寸法）。肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）。

第一冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書一」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書（随園文抄）」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「随園文鈔／以下詩文抄録」とあり。五〇丁。

第二冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書二」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書二」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「山陽文稿／以下詩文抄録」とあり。三四丁。

第三冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書三」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書三」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「奇絶志／元明史略／以下詩文抄録」とあり。六二丁。

第四冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書四」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書四」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文雑抄」とあり。四一丁。

第五冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書五」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書五」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文抜抄」とあり。二七丁。

第六冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書六」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書六」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文雑抄」とあり。四七丁。

第七冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書七」（表紙左肩、打

付書）、「学聚堂叢書七」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「夜航余話 東陽居士著」とあり。四四丁。

第八冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書八」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書八」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「史子雑説／百衲詩話／以下詩文抄録」とあり。三七丁。

第九冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書九」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書九」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「三好清行封事／以下詩文抜抄」とあり。三七丁。

第十冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文雑抄」とあり。三四丁。

第十一冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十一」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十一」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「籌海私議 塩谷岩陰著／海防私策 羽倉用九著／以下詩文抄録」とあり。四九丁。

第十二冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十二」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十二」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「葛因是等小伝／以下詩文抜録」とあり。三八丁。

第十三冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十三」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十三」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文抜抄」とあり。四六丁。

第十四冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十四」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十四」（二丁目薄紙表紙左肩、

打付書)。五六丁。

第十五冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十六」(表紙左肩、打付書)、「学聚堂叢書〈壬申春／二月〉」(一丁目薄紙表紙左肩、打付書)。表紙右肩に打付書で「枕山詩二編／拙堂文話／以下詩文抄録」とあり。四一丁。

第十六冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十七」(表紙左肩、打付書)、「学聚堂叢書〈壬子〉十七」(一丁目薄紙表紙左肩、打付書)。表紙右肩に打付書で「小倉山房文約／以下詩文抄録」とあり。三八丁。

第十七冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十八」(表紙左肩、打付書)、「学聚堂叢書〈明治二十年丁亥八月二日成冊〉地」(一丁目薄紙表紙左肩、打付書)。表紙右肩に打付書で「記福田晋一遭厄事／以下詩文抄録」とあり。二七丁。

第十八冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十九」(表紙左肩、打付書)、「学聚堂叢書十九」(一丁目薄紙表紙左肩、打付書)。表紙右肩に打付書で「詩文雜抄」とあり。四二丁。

第十九冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書二十」(表紙左肩、打付書)、「学聚堂叢書〈癸丑〉卷拾九／二十」(一丁目薄紙表紙左肩、打付書)。表紙右肩に打付書で「詩文抜抄」とあり。三二丁。

第二十冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書廿一」(表紙左肩、打付書)、「学聚堂叢書〈癸丑／新秋〉廿一」(一丁目薄紙表紙左肩、打付書)。表紙右肩に打付書で「詩文雜抄」とあり。四〇丁。

第二十一冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書廿二」(表紙左肩、打付書)、「学聚堂叢書〈己巳〉廿二」(一丁目薄紙表紙左

肩、打付書)。表紙右肩に打付書で「詩文隨鈔」とあり。五一丁。

第二十二冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書廿三」(表紙左肩、打付書)、「学聚堂叢書〈丙辰〉廿三」(一丁目薄紙表紙左肩、打付書)。表紙右肩に打付書で「詩文雜抄」とあり。二七丁。

和漢の諸書から詩文を抄出したもの。書きためたものを、三十〜五十丁ずつ合綴していったらしく、明確な方針の下に編まれているわけではない。

【附録三】近世古文所見集（4・02／キ／5貴）

写本二卷一冊。縦二二・三cm×横一五・四cm。水色表紙、四つ目綴じ。五六丁。

外題「近世古文所見集 全」（表紙左肩、子持粹書き題簽）。内題「近世古文所見集卷一」二二」

頼山陽、大槻磐溪、林鶴梁、松林飯山など、近世後期から明治にかけての儒者・文人の文二十八編を抄出したもの。

【附録四】梅墩詩鈔（4・07／ハ／2貴）

写本一冊。縦二三・〇cm×横一五・一cm。肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）。一三丁。

外題「梅墩^{（やくづん）}詩鈔（菊池三溪手批）」（表紙左肩、子持粹書き題簽）、「梅墩詩鈔 全」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。内題「梅墩詩醇」。

広瀬旭莊『梅墩詩鈔』（初く三篇、嘉永元年刊。四編、安政三年刊）から四十首を抄出したもの。

〔付記〕調査に当たっては、京都大学附属図書館特殊資料掛の方々に大変お世話になった。心より感謝申し上げる。

また、本稿作成については、中村健史氏に多大のご助力をいただいた。記して謝意を表す。

（ふくい たつひこ・立命館大学文学部講師）